

質問

## 自動運転サービス 今後の展開は

## 第三 村長 村は経営しない

## 第三者が行うべき

【伊藤秀明議員】



ト配信  
本会議のインターネット

伊藤議員

**伊藤議員** 高齢者が多いことに加え、平日のため若者たちは傍聴の機会を失いつつあると思う。議員個人としては、ネットで配信し、村長或いは議員が何を言っているか見てもらいたいと思つてゐるが村長の考えは、

**村長** インターネットの分配について、議会の結論をもつて予算化し、議会の決定によりネット配信が可

素早い対応が重要で、各地区の防災会にその役割を担つていただきたい。今年度は、小沢田地区自主防災会と小中学校、保育園、グル

**伊藤議員** これからは、  
の洪水ハザードマップ、N  
TTタウンページ避難所マ  
ップの活用と併せ避難訓練  
を実施し、緊急速報や災害  
警報に備え、避難場所の確  
保、特に高齢者の避難指示  
を各集落と連携しながら、  
村民の命を守る対応、対策  
が必要ではないか。

能になると思う。議員である皆さんに決めることだとと思うので、配信が決まればそれに従い、特別変わらないと思う。

## 災害時の避難対策・対応

令和2年度の新規事業は

**伊藤議員** 新年度予算の作成時期となつてゐるが、新規に取り組む事業は。以前自分が質問した村主体のミニカントリーの建設はどうなつたのか。また、農業機械購入に対し北秋田市のように、これから農業を頑張る者に、村単独の補助金制度を確立させ、農業後継者を確保する考えはないのか。

リブホームが合同で防災訓練を実施。他の地域においても、防災・減災に対する理解が深まるよう、関係団体・機関と連携して取り組みたい。

**村長** 予算査定中であり、  
詳しく回答する段階はない  
が、大内沢自然観察教育林  
を、村の宝として多くの人

## 自動運転サービス

## 伊藤議員 私に対する政治

質問なので、村長としては答弁しない。

**伊藤議員** 村長は再選当初、自動運転サービスについて、無理があるような話をしていたが、国土交通省の



11月30日からスタートとした自動運転サービス

(7) 上小阿仁村議会だより 第173号

事業とは言え、11月30日に全国初の同運転サービスが始まった。これまでの利用者数や感触はどうであつたか、今後どのように事業を展開していくのか。

**村長** 昨年の長期実験の結果、  
用者は628人で、うち村  
内利用者は281人、1日  
当たりの平均乗車人数は村  
外も含め15人である。不安  
な面が多いが、既存の公共交通  
等を組み合わせながら  
村全体を効率的に利用しや  
すい生活の足として考  
えて  
きたい。

質問

## 村営の学習塾を開設できないか

教育長

自主性を育む指導

現状を大切にしたい



【河村良満議員】

### 村営学習塾の開設

**河村議員** 10月5日の学校祭で、保護者に受験対策について尋ねたところ「学校任せです」という方がほとんどであった。「村営の学習塾が開設されれば参加させたいか」と尋ねたところ、中学3年生の保護者8人、2年生の保護者11人、1年生の保護者6人、25人の保護者全員が、学習塾があれば通わせたいと思つてゐるようだつた。県内でも東成

瀬村や小坂町で、公営の学習塾を開設しているが、村でも開設できないか。

教育長

学習は従来、教師から児童・生徒への一方通行が多かつたが、最近では生徒同士が学び合い、その疑問点に教師が答えるという対話を大切にする双方向の学習が主流となつてゐる。

その意味では、現在、学校が行つてゐる指導は深い学びにつながるということでありましい形態である。保護者の意見は考慮しなければいけないものだが、生徒の自主性を重んじながら、子供たちの特性を把握した教育を小中学校全体で行なつてゐる。このことから、学習塾の開設は、当面、必要がないと考える。

**村長** 学習塾があるからと申上げるとは言えないが、伸びしろがあると思つていれる。せつかく塾を開設しても、子供たちの姿がないと、いうことでは勇み足になってしまふので、意向調査をして長期休業中に開設できるか検討したい。

**河村議員** 平成30年度ふるさと納税は519件、83万5千円で、そのうち返礼品の充当額が272万4千円、返礼品全体の13.25%で、残りは「JA秋田たかのす」とのことであつた。他の自治体は、地元商品を大々的に取り入れ、総務省は「ふるさと納税の返

かを考えさせられ、他の町村と同じように勉強できる環境を作つてあげるべきではないかと考える。

礼品は寄付額の3割以下で地場産に限る」としていいる。村でも地元の道の駅から返礼品を購入し、地域の農家生産者の働く意欲を高められるようにしてはどうか。

「道の駅」(上小阿仁村観光物産)から購入しては

礼品は寄付額の3割以下で地場産に限る」としていいる。村でも地元の道の駅から返礼品を購入し、地域の農家生産者の働く意欲を高められるようにしてはどうか。

礼品は寄付額の3割以下で地場産に限る」としていいる。村でも地元の道の駅から返礼品を購入し、地域の農家生産者の働く意欲を高められるようにしてはどうか。



道の駅で発売した発泡酒「こはぜ麦酒」

**河村議員** 11月30日、小中学校で「こあに発表会」があり、子供たちが村の将来について真剣に考えている姿に感激した。次の上小阿仁村を背負っていく子供たちへ、大人はどうあるべき

**村長** 今年度においても、同水準の寄付をいただいている。村が企業から直接、返礼品を購入し、発送等を行ふ場合、それに付帯して入金管理や関係書類の作成、送付なども発注し、人的に極めて困難な状況である。

現状においても、道の駅で上小阿仁村産の野菜を取り扱いしているので、今後も魅力的な商品づくりをしていただき、さらに寄付者に選択してもらうよう努めていただきたい。道の駅は広告塔的な存在でもあり、重要な施設と認識しているのでイベントや集客などの応援ができるかを考えていきたい。

質問

# 村政推進に向け 提案時期と考えは

村長

人生を左右する人事案

簡単ではない



【武石辰久議員】

**不在の副村長、監査委員の選任**

武石議員

中田村政がスタートしてから8ヶ月。残念ながら、副村長と監査委員が空席となっている。村長の公約を進めていくためにも早期に選任していただき、村を動かしてもらいたい。村長の考え方と、その時期は。

いける人材だと思っていたが、残念ながら理解を得ることができなかつた。村長不在時の代理対応など、重責を担う大事な職務であり、新しい人材を提案しても村長との信頼関係がなければ務まらない。そうした認識の共有もできないまま、議員の方々が理想とするイメージが、私には分からないし、提案のしようもない。

**村の森林資源を活かすための施策、事業計画等**

武石議員

①「山林活用100年計画」の中・長期的な考え方と短期3年の計画方針は。

②来年度における森林環境譲与税の活用は。

③林業事業者、後継者養成等の支援体制は。

①中期的には、間伐の時期が遅れないよう、間伐作業を適期に実施し、事業費の平準化も考慮しつつ具体的に計画する。長期的には、林齢構成の偏りを標準化し、循環型で継続的な山林経営をめざしたい。短期3年間では、集落と分収造林契約し、契約期間が到来した山林について皆伐事業を行う予定である。

**林業振興を図るための協議会設置と加入**

武石議員

①村内での事業者、関係団体、森林管理局、

村、議会等の連絡協議会を作つて連携し、取組の強化を図るべきでは。

②今年5月設立の全国的な組織で、中央団体、地方団体、企業、地方公共団体、学識経験者、市町村構成の「森林（もり）」を活かす都市（まち）の木造化推進協議会に加入してはどうか。



空撮による森林調査に向け、職員によるドローン技術講習

②今年度は735万6千円が交付される見込みで、来年以降、数年間は森林所有者への意向調査、経営管理権集積計画の作成に対する費用に充当する予定である。

③地元事業体の受注機会確保に努めていきたい。後継者対策としては、県の林業研究活性化センターが主宰する秋田県林業トップランナー養成研修、いわゆる林業大学校の村有林活用を通じた研修を予定している。

費用に充當する予定である。また、米代流域活性化センターでも、林業振興に係る研修等を実施している。村内の事業者も、こうした協議会に加入しており、現状では新たな協議会の設置は考えていない。

②この協議会は、別に組織している国會議員連盟と意見交換や政策要望を行い、予算獲得をめざしており、全国では4県、40市町村の自治体が賛助会員として入会している。会費が免除になっているので、県内市町村の動向を確認しながら検討したい。

質問

## 集落単位で路網整備できなか

村長

伐採後の必須条件

植林に支援したい



【北林義高議員】

### 山林の路網整備や木材の活用

北林議員

天然杉の伐採最盛期の頃は、多くの村民、職員や作業員として働き、製材所も何社もあり、活気があつた。

この頃は、木材の値段も良く、林家や集落などで皆伐や植林を盛んに行い、山も手入れが行き届いていた。今では製材所も1社となり、林家も高齢の方が増え、手入れも進まなくなっている。

後継者の方も、自分の山林がある場所や境界、どのような状態なのかさえ分からなくなっている。個人で処分しようにも事業費で赤字となり、処分できない状況である。村が先頭に立つて集落単位でまとめるなど、協力・指導が必要ではないか。そのためにも林道、作業道が必要であり、間伐や皆伐、植林を進めることで荒れた山林の手入れが可能となり、数少ない村内業者の育成にもつながると思う。

また、バイオマスチップ工場に対し、出来ない場合、森林環境譲与税を活用した「森林経営管理制度」に進み、今後実施する意向調査により、経済林と非経済林に分類される。経済林は林業事業体に管理を委ねることになる。この場合、皆伐後は再造林することが必須となつておらず、皆伐して得た収益は再造林のための費用のほか、その後の保育等、手元に残らないことも考えられる。非経済林に分類されると、

個人の山林において処分できない林家については、第一に林業事業体に相談するなど、個人の対応をしていただき、林業事業体に取りまとめてもらう方法もある。これらが出来ない場合、森林環境譲与税を活用した「森林経営管理制度」に進み、今後実施する意向調査により、経

協力すべきでないかという意見だが、私は村長として答弁はしない。何故なら、この企業は議員が經營されている営利企業である。先ほども申し上げたが政治倫理上、議員が議員に便宜を図る質問は控えなければならないと思う。残材と言えども、慎重な対応が

強い間伐等を行い、天然林に近い混合林化へと向かう。どちらにしても皆伐した収益は林家の手元に残らないことが予想されるので、個人やまとめて処分できる方が良いと考えられる。路網整備については、森林整備等事業計画に基づいた路網整備が補助対象事業の要件となつているので、私有林についてはしつかりとした森林整備にかかる計画等を作成していただき、必要な路線について整備を図つていけるよう周知に努める。

北林議員 村の宝である村有林、民有林も含め、木材の利活用をするためにも林道・作業道の開設をお願いしたい。これでは、植林に対する支援策を検討していきたい。



年次計画で進められている林業専用道多々羅八森沢線

# 議会の動き

## 小阿仁川水系対策委員会

11月14日(木)



管理事務所職員から説明を受ける

村議会と北秋田市議会で構成する小阿仁川水系対策委員会において、岩手県久慈市の滝ダムを視察しました。

滝ダムは、洪水調節や流水の正常な機能の維持、発電を目的に昭和57年10月、岩手県で最初に完成した多目的ダムです。



ダム管理施設を見学する委員

## 第58回小阿仁川筋ダム対策連絡協議会

11月21日(木)



河川環境について話し合われた小阿仁川筋ダム対策連絡協議会(上小阿仁開発センター)

県をはじめ、小阿仁川水系対策委員会委員などが出席し、萩形ダムの管理状況や、小阿仁川の下流域から進めている築堤工事の状況、流況調査結果について意見を交わしました。

村側からは、下流から整備するのは理解できるとしたうえで、「大雨に見舞われると毎回、同じ場所で水害が発生しているため、築堤や土砂の除去、立木の伐採など、早期に河川改良をしてほしい」と要望が出されました。

特に、全国でも珍しい「海の見えるダム」として、眺望に訪れる人が多いということででした。管理事務所の職員からは、過去の災害状況やダムの運用、下流域の河川状況について説明を受けました。

また、「水量か少ない」との質問に対し、「今年は渴水傾向が続き、発電量は例年の40%程度」などと回答しました。

がると思う」と説明し、理解を求めました。

河川環境が悪化する。発電の関係で水量が少なくなつたのか」との質問に対し、「

# 今後の定例会日程予定表

区分	会議名	開催年月日	曜日	会期 (休会を除く日数)
3月定例会	議会運営委員会	令和2年2月25日	火	13日 (9日)
	開会	令和2年3月3日	火	
	閉会	令和2年3月13日	金	

子年生まれ

## 「将来の夢」「抱負」「目標」

①6年

バスケの全県大会があるので、それに向けて、気合を入れて練習にとりくみたいです。

⑥5年

将来、将棋き士になり、日本一になるために、相手の気持ちも考えながら、毎日練習したいです。

②5年

ぼくは、将来、プロ野球選手になつて、年間5本以上のホームランを打つて、有名になりたいです。

⑦5年

ぼくは、陸上のジャベリックボーラ投げで、投げたきよりをのばし、練習に取り組みたいです。

③5年

ぼくのじょう来の夢は、秋田県で有名な発明家になつて、人の役に立つ物をたくさん作ることです。

⑧5年

将来の夢は、プロバスケット選手になつて活やくし、力強く堂々とプレーすることです。

④5年

ぼくは、陸上のジャベリックボーラ投げで40mを目指にして、練習や大会をがんばりたいです。

⑨5年

私の将来の夢は「アイス屋さん」です。そのため、たくさん料理を作り、料理の腕をあげたいです。

編集委員

ぼくは、国語の作文がとても苦手なので、もっと練習をして作文をこくふくしたいです。

私は陸上の大会のはば飛びで、いい記録を出せるように練習を真っに取り組みたいです。

新年、あけましておめでとうございます。

今年も上小阿仁村議会を、よろしくお願ひします。

昨年は平成から令和へと変わり、議会のメンバーも変わりました。

次回の定例会は3月3日開会予定です。  
12月定例本会議の傍聴者は7人でした。



議会を傍聴してみませんか



次回の定例会は3月3日開会予定です。  
12月定例本会議の傍聴者は7人でした。

編集後記

委員長  
副委員長  
委員  
北萩齊河武  
林野藤村石  
義芳鉄良辰  
高紀子満久

初心忘るべからず  
私たち議員も初心を忘れず、  
村民の声に耳をかたむけ、我が  
村発展の為、村民が夢や希望を  
持てる村を作るため頑張ってい  
きます。  
(萩野記)